

7 参加資格

〈大会参加の原則〉

- ① JVAメンバーに登録することで、すべてのJVA主催全国大会および予選会、または都道府県協会の主催・主管する大会に参加する権利を得る。
- ② 各大会に参加できる選手は、その申込みまでに有効に登録された選手でなければならない。また、全国大会についても、大会申し込みまでにそのチームに加入していれば、予選会に参加していなくても全国大会に出場することができる。その際、そのメンバー(選手・スタッフ)は、他のチームから同一大会の予選会に参加申込みしていないことが条件となる。
- ③ 同一の大会(全国大会の予選会を含む)への参加は、1登録チームにつき1チームとする。ただし、開催要項により1登録チームについて複数のチーム参加を許可している場合は除く。
 - ○○クラブとして登録しているチームが○○クラブ(A)と○○クラブ(B)等2つまたはそれ以上に分割して出場することを指す。
 - このケースを許可している大会でも、そのチームに所属している選手及びスタッフはいずれかの1チームからのみ参加することができる。(部長は除く)
- ④ 選手及びスタッフは、同一の大会(全国大会の予選を含む)に出場できるのは1チームからとする。
 - 二つ以上のチームに所属する選手・スタッフが一つの大会(予選会を含む)に出場した場合、この選手・スタッフは他のチームから同一の大会(予選会・本大会を含む)に出場することはできない。
- ⑤ 大会申込みにおいて申込手続きが完了した時点で、その大会に出場したものとみなす。
- ⑥ JVA主催全国大会に参加するチームのベンチスタッフについては以下のとおり。
 - 監督・コーチ・マネージャーのうち1名以上は、(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認バレーボールコーチ1、コーチ2、コーチ3、コーチ4のいずれかの資格を有する者でなければならない。
 - JVA主催全国大会に参加するチームのベンチスタッフも、JVAメンバー登録することが必要となる。スタッフは「選手」または「チームスタッフ」としてMRSにより登録をする。「選手」として登録しているメンバーはベンチスタッフと選手を兼ねることができるが、「チームスタッフ」のみに登録した場合、選手として大会に申込みすることはできない。

【9人制】

全日本総合男子・女子選手権大会

当年度公益財団法人日本バレーボール協会「チーム加盟及び個人登録規程」により、それぞれの種別に有効に登録された選手及びベンチスタッフで構成され、次の項目に該当するチーム。

- (1) 前年度優勝・準優勝・第3位の上位4チーム
- (2) 当年度9人制実業団男子・女子選手権大会優勝チーム
- (3) 当年度9人制クラブカップ男子・女子選手権大会優勝チーム
- (4) 当年度トップリーグ所属チーム
- (5) 各ブロック代表として推薦されたチーム。
- (6) 開催地は、上記(4)の他に1チームを加える。
- (7) 不参加チームが出た場合は、JVA競技委員会が補充することがある。

全日本クラブカップ男子・女子選手権大会

当年度公益財団法人日本バレーボール協会「チーム加盟及び個人登録規程」により「クラブ」として有効に登録された選手及びベンチスタッフで構成され、下記に該当するチームとする。

- (1) 前年度優勝・準優勝・第3位の上位4チーム
- (2) 都道府県ならびに各ブロックから日本クラブ連盟に推薦されたチーム。
- (3) 開催地は上記(2)の他に1チームを加える。

(注意事項)

- (1) 選手及びスタッフは、6人制・9人制両方に出場できる。
- (2) 以下に該当する選手は出場できない。
 - ・当年度、クラブ以外の加盟団体から全国大会等（都道府県予選会を含む）に出場している選手。
 - ・ジャパンバレーボールリーグ(JVL)に加盟（準加盟含む）しているチームに、(JVL)の事業年度である前年7月1日から当年6月30日までの期間に登録された選手。
 - ・前年度全日本バレーボール大学男女選手権大会(通称：全日本インカレ)に出場(選手登録)した選手。但し、前年度大学卒業した選手、当年度入学した選手は除く。
- (3) 前項(1)(2)は都道府県予選会にも適用する。
- (4) 不参加チームが出た場合、JVA競技委員会が補充することがある。

全日本実業団男子・女子選手権大会

当年度公益財団法人日本バレーボール協会「チーム加盟及び個人登録規程」により「実業団」として有効に登録された選手及びベンチスタッフで構成され、下記に該当するチームとする。

- (1) 前年度優勝チーム
- (2) 主催団体より推薦されたチーム（前年度大会ベスト4）
- (3) 都道府県代表として推薦されたチーム。但し、複数代表の都道府県については、年度当初の「出場チーム数一覧」を参照のこと。
- (4) 開催地は、上記(3)の他に1チームを加える。
- (5) 女子選手権大会については、日本実業団連盟より推薦（当年度9人制トップリーグ出場チームは除く）されたチーム
- (6) 不参加チームが出た場合、JVA競技委員会がチームを補充することがある。

全国社会人東ブロック・西ブロック男女優勝大会

当年度公益財団法人日本バレーボール協会「チーム加盟及び個人登録規程」により「実業団」「クラブ」および「大学」として有効に登録された選手で構成されるチームで、下記に該当するチーム。

- (1) 各ブロック代表として推薦されたチーム。
- (2) 開催地は上記の他に男女各1チーム。
- (3) 下記の競技会に出場したチーム及び個人(選手)は出場できない。
 - ①当年度黒鷲旗全日本男女選抜大会
 - ②当年度全日本9人制実業団男子・女子選手権大会
 - ③当年度全日本9人制クラブカップ男子・女子選手権大会
 - ④当年度国民スポーツ大会バレーボール競技
- (4) 不参加チームが出た場合、JVA競技委員会が補充することがある。

【6人制】

黒鷲旗全日本男子・女子選抜大会

当年度公益財団法人日本バレーボール協会「チーム加盟及び個人登録規程」により「実業団」「クラブ」「大学」「高等学校」としてそれぞれ有効に登録された選手で構成されるチームで、本大会選考委員会により、選出されたチーム。

- (1) 当年度登録手続未了の場合、選考にあたっては、前年度の登録によることができる。
- (2) 新規に加盟した選手は、登録と同時に参加資格を有するものとする。

天皇杯・皇后杯全日本選手権大会

当年度公益財団法人日本バレーボール協会「チーム加盟及び個人登録規程」により有効に登録された選手及びベンチスタッフで構成された中学生以上のチーム。

全日本クラブカップ男子・女子選手権大会

当年度公益財団法人日本バレーボール協会「チーム加盟及び個人登録規程」により「クラブ」として有効に登録された選手及びベンチスタッフで構成され、下記に該当するチームとする。

- (1) 前年度優勝・準優勝・第3位の上位4チーム
- (2) 都道府県ならびに各ブロックから日本クラブ連盟に推薦されたチーム。
- (3) 開催地は上記(2)の他に1チームを加える。

〈注意事項〉

- (1) 選手及びスタッフは、6人制・9人制両方に出場できる。
- (2) 以下に該当する選手は出場できない。
 - ・ 当年度、クラブ以外の加盟団体から全国大会等（都道府県予選会を含む）に出場している選手。
 - ・ ジャパンバレーボールリーグ(JVL)に加盟（準加盟含む）しているチームに、(JVL)の事業年度である前年7月1日から当年6月30日までの期間に登録された選手。
 - ・ 前年度全日本バレーボール大学男女選手権大会(通称：全日本インカレ)に出場(選手登録)した選手。但し、前年度大学卒業した選手、当年度入学した選手は除く。
- (3) 前項(1)(2)は都道府県予選会にも適用する。
- (4) 不参加チームが出た場合、JVA競技委員会が補充することがある。

スーパーカレッジ男子・女子大学選手権大会

- (1) 当年度公益財団法人日本バレーボール協会「チーム加盟及び個人登録規程」により「大学」としてそれぞれ有効に登録された選手で構成されるチームであること。
- (2) 当年度全日本大学バレーボール連盟加盟校であること。

全国高校総合体育大会（インターハイ）

- (1) 選手は学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒は除く。
- (2) 選手は都道府県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、当該競技要項により全国大会への参加資格を得た者に限る。
- (3) 当年度公益財団法人日本バレーボール協会登録規定により「高等学校」としてそれぞれ有効に登録された選手で

構成されるチームであること。

(4) 年齢は4月2日を起算とする。(参考：2024年度大会は2005年4月2日以降に生まれた者) 但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。

(5) チーム編成においては、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。

(6) 次の条件にあてはまる合同チームの大会参加を認める。

ア. 統廃合の対象となる学校を含む合同チーム

イ. 「部員不足に伴う複数校合同チーム参加ガイドライン」に準拠した合同チーム

(7) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる) 但し、一家転住などの理由によりやむを得ない場合は、都道府県高等学校体育連盟会長の認可があればこの限りではない。

(8) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長及び所属高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。

(9) 参加資格の特例

ア. 上記(1)(2)に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、都道府県高体連が推薦した生徒について、別途定める規定に従い大会参加を認める。

イ. 上記(4)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。

[大会参加資格の別途に定める規定]

1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。

2 以下の条件を具備すること。

(1) 大会参加資格を認める条件

ア (公財)全国高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。

イ 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。

ウ 各学校にあっては、都道府県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。

エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問職員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っておらず、運営が適切であること。

(2) 大会参加に際し守るべき条件

ア 全国高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

イ 大会参加に際しては、責任ある職員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。

ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

全日本バレーボール高等学校選手権大会(春高バレー)

(1) 選手は学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒は除く。

(2) 選手は都道府県高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒で当該競技専門部に登録し、当該競技実施要項により全国大会への参加資格を得たものに限る。

(3) 当年度公益財団法人日本バレーボール協会登録規定により「高等学校」として男女それぞれ有効に登録された選手で構成されたチームであること。

- (4) 年齢は4月2日を起算とする。(参考：2024年度大会は2005年4月2日以降に生まれた者) 但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする
- (5) チーム編成においては全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (6) 次の条件にあてはまる合同チームの大会参加を認める。
 - ア. 統廃合の対象となる学校を含む合同チーム
 - イ. 「部員不足に伴う複数校合同チーム参加ガイドライン」に準拠した合同チーム
- (7) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる) 但し、一家転住などの理由によりやむを得ない場合は、都道府県高等学校体育連盟会長の認可があればこの限りではない。
- (8) 出場参加する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在籍する学校長及び所属高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- (9) 学校教育法第1条に規程する高等学校以外の参加については、全国高校総体参加基準要項に準ずる。

全国高校定時制・通信制大会

- (1) 定時制通信制高等学校に在学する生徒(一部の教科・科目の履修を目的とする者は除く)で、学校長及び都道府県高体連会長の承認を得て選出された者とする。
- (2) 当年度公益財団法人日本バレーボール協会「チーム加盟及び個人登録規程」により「高等学校」としてそれぞれ有効に登録された選手で構成されるチーム。
- (3) 当該年度に、全国高等学校総合体育大会(各地区大会を含む)出場者は除く。
- (4) 本大会参加は4回(但し、3年制に在学する生徒は3回)までとする。
- (5) 年齢制限はない。
- (6) 参加選手はあらかじめ健康診断を受けること。
- (7) 前年度優勝・準優勝のチームは推薦出場することができる。

全日本中学校選手権大会

- (1) 参加者は都道府県中学校体育連盟加盟の中学校に在籍し、当年度全日本中学校バレーボール選手権大会要項により全国大会参加資格を得た者に限る。
- (2) 年齢は、2009年4月2日以降に生まれた者に限る。(2024年度大会の場合)
- (3) 前項以外の生徒が参加を希望する場合は、当年6月30日までに都道府県中学校体育連盟を通して(公財)日本中学校体育連盟に申し出ること。
- (4) 各ブロックの予選を経て、代表権を得たチーム及び開催地1チームとする。但し、「全国中学校体育大会複数校合同チーム参加規程」に基づき、複数校合同チームでの参加ができる。また、「全国中学校体育大会拠点校部活動参加規程」に基づき、拠点校部活動での参加ができる。
- (5) 当年度全国中学校体育大会夏季大会の他の競技に出場していない者。
- (6) 参加資格の特例
 - ① 学校教育法第134条の各種学校(1校以外)に在籍し、都道府県中学校体育連盟の予選大会に参加を認められた生徒であること。
 - ② 参加を希望する各種学校は以下の条件を具備すること。
 全国大会の参加を認める条件
 - ア. (公財)日本中学校体育連盟の目的及び長年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - イ. 生徒の年齢及び修業年限が我国の中学校と一致している単独の学校で構成されていること。
 - ウ. 参加を希望する学校にあっては、運動部活動が学校教育の一環として、日常継続的に当該校顧問教員の指

導のもとに、適切に行われていること。

(7) 地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）に所属する中学生

- ①地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）に所属し、都道府県中学校体育連盟またはブロック中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
- ②全国中学校体育大会に参加を希望する地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）は以下の条件を具備すること。
全国中学校体育大会の参加を認める条件
 - ア（公財）日本中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - イ 生徒の年齢及び修業年限が我が国の中学校と一致している（中学校に在籍している生徒であること）。
 - ウ 地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）にあつては、日常継続的に代表者もしくは指導資格を有する指導者の指導のもとに、適切に行われていること。
 - エ 『学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン』（令和4年12月スポーツ庁・文化庁発出）の「Ⅱ 新たな地域クラブ活動」を遵守していること。
 - オ 当該競技を管轄する中央競技団体もしくは都道府県競技団体に登録されていること。かつ同じ内容で都道府県中学校体育連盟に登録していること（登録費については、都道府県中学校体育連盟の方針による）。
 - カ 都道府県における予選会となる全ての大会において、競技役員や審判など運営上必要な事項に協力すること。
 - キ 地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）で全国中学校体育大会につながる大会に参加する場合、在籍中学校での大会参加は認めない。その逆も同様である。

全国都道府県対抗中学大会

- (1) 各都道府県の中学校に在学する生徒で、同一都道府県内で選抜されたチームであり、各都道府県バレーボール協会長から推薦されたチームであること。
- (2) 当年度公益財団法人日本バレーボール協会「チーム加盟及び個人登録規程」により「中学校」としてそれぞれ有効に登録された選手で構成されるチームであること。
- (3) 申込み日現在、満16歳以下の者であること。

全日本小学生大会

- (1) 当年4月1日現在12歳未満の者で、当年5月1日現在、国・公・私立の小学校および各種学校に在籍している者。
- (2) 当年度公益財団法人日本バレーボール協会「チーム加盟及び個人登録規定」に基づき、当年4月1日以降、全国大会申込締切日までに登録を済ませていること。
但し、この都道府県大会中、他チームから登録され、その後移籍した者についてはこれを認めることはできない。
- (3) 都道府県大会の結果、各都道府県バレーボール協会長の推薦したチームであること。
(注) 北海道は南北2分し男子・女子・混合各1チーム、他は男子・女子・混合各1チームとする。
開催地は、上記の他に男子・女子・混合各1チーム加える。

全国高等専門学校体育大会

- (1) 高等専門学校に在学中の学生であること。但し、専攻科の学生は除く。
- (2) 当年度公益財団法人日本バレーボール協会「チーム加盟及び個人登録規程」により「高等専門学校」としてそれぞれ有効に登録された選手で構成されるチームであること。
- (3) 各地区予選会において選出されたチーム及び開催校。